

✦ ご挨拶



新型コロナウイルスの猛威が止まりませんが、体調にお変わりございませんか。すべてが委縮・内にこもらざるを得ない状況に不安ばかりが募る。そんな折、「舌ガン：ステージ4」で闘病されている、タレントの堀ちえみさんのインタビューを見る機会がありました。

彼女が語ったことは、「生きているからこそ、つらいことがある。それを乗り越えた先に、素晴らしいものがあると思って頑張っていかなければならないのではないか。」でした。舌を6割切除してリハビリを続けながらも、元のようにはいかない現実。それを「ありのままに受け止め、乗り越えてきたからこそこの想い」を話される姿に胸が熱くなりました。

今までの経験や蓄えた知識を超える想定外の事態が起きたら、「過去にどうしていたか」と答えを探しても、きっと見つけれないでしょう。様々な状況で起きている問題の、正解とその解き方が分からないのなら、より【最適】だと考えられる方へ、答えを導き続けるほかはないと思います。

「〇〇だから△△なんだ」という思い込みや、偏りがちな考えを捨て、ものごとを色々な方向から見て本質を見極め、「希望（得られるもの）」につながる決断をする時代がやってきました。

✦ ピンチはチャンス？！

「コロナの影響で暖かくなってからも、マスクをし続けても違和感ないよね。だから、私にとっては入れ歯を作るのに最適の時期なのよ。」

まさに**発想の転換**！最近ご来院いただいた患者さんから、この言葉を聞いたとき、ジョン・F・ケネディの名言が思い浮かびました。『危機という言葉は二つの漢字でできている。ひとつは危険、もうひとつは好機である。』

ものごとは常に表裏一体。A方向から見るとイマイチでも、B方向から見るとキラリと光るものがあったり、全く違う風景が見えたりします。

「コロナ流行期に歯科医院に行って大丈夫ですか？」とお問い合わせをいただきます。現在、歯科医療の現場では「観血的処置」と呼ばれる、抜歯など「出血を伴う外科的処置」は避けるべきとされています。なぜなら、より感染症の危険が増すからです。もちろんインプラントも外科処置を伴いますので、避けるべき治療行為にあたります。ですが、入れ歯を作る過程において、出血を伴う外科的処置は必要ありません。

当院では、感染予防対策が取られた【クリニック1棟まるごと貸し切り】となる、「あなただけ」の空間をご提供しております。「3密」＝「密閉・密集・密接」に充分配慮して診療を行っておりますので、安心して受診いただければ幸いです。

現在隠れ家のような当院で、免疫力アップに欠かせない「口内環境を再建する」入れ歯を作られている方もおられます。巣ごもり期間中のあなたは、どう過ごされますか？適切な環境下で“自分をケアする時間”を持たれるのも一案です。

✦ その順番で合っていますか？

「マスク・グローブ・消毒用エタノール」感染予防グッズの品薄は相変わらず、ご自宅にある漂白剤で、消毒液を作られている方も多いと思います。ご存知かどうかは思いますが、念のためお知らせします。消毒液を手作りするには、「漂白剤と水を混ぜるだけ」とても簡単なものですが、混ぜる順番を間違えると危険です。

守ってほしい順番は【①水をためる → ②漂白剤を加える】です。

2種類の液体を混ぜるとき、大抵最初にはね返りがあります。例えば、漂白剤の少し残った容器に、水を注いだら、はね返ってくるのは漂白剤の方です。不意に目に掛かったりしたら、大変なことになります。安全性を保つには、「鉄則の順番」ですのでご注意ください！



✦ お知らせ 4月29日(水)～5月6日(水)まで休診致します。

(このニュースレターに関する皆様からのご意見・ご感想などをお寄せいただければ幸いです。)